沖縄最北端の島

伊平屋村（いへやそん）

〒905-0793
住所：沖縄県島尻郡伊平屋村字我喜屋251番地
TEL：0980-46-2001　　FAX：0980-46-2956
URL : https://www.vill.iheya.okinawa.jp/

国指定天然記念物

伊平屋村は沖縄県の最北端にあり、東シナ海洋上に浮かぶ離島村です。那覇市から北方に117km、今帰仁村運天港より41.1kmの距離にあります。

伊平屋島と野甫島の２つの島からなり、晴れた日には、鹿児島県の与論島もみえます。豊かな自然に恵まれ、変わらぬ文化が生き続けており、約1,200人が暮らしています。

■主なイベント

伊平屋ムーンライトマラソン
いへやまつり
豊年祭
田名のウンジャミ
我喜屋大綱引き
伊平屋ヴィレッジトレイル

■特産品

黒糖
泡盛（照島）　玉ねぎ
米（ちゅらひかり）
もずく　アーサ　黒糖
塩夢寿美
てるしの一味
うずまきもち
マンゴー
ドラゴンフルーツ

■観光名所

念頭平松
天の岩戸
久葉山
無蔵水
野甫大橋
神アシャギ
米崎海岸

伊平屋村の概要

沖縄県の最北端で、東シナ海洋上に浮かぶ離島村です。

村は、伊平屋島と野甫大橋で繋がれた野甫島の２つの島からなり、５つの集落に分かれています。

年間を通じて安定した温暖気候で、島の自然や歴史文化等の地域資源が豊富です。

伊平屋村の風土風習

伊平屋村は、日本史、琉球史に関わりの深い島と知られており、琉球五王統のうち、第一尚氏の祖先、屋蔵大主の産まれた島でも知られています。

また、太陽の神様『天照大御神』が洞窟に隠れたという天岩戸伝説。その伝説の最南端の地とされている場所でも有名です。

単身向け職員住宅

単身向け職員住宅

伊平屋村の住宅

近年、民間アパートが建設されたほか、職員住宅が10棟、特定専門住宅も整備されました。また、定住促進向け住宅も７棟建設されています。

移住者体験型住宅

伊平屋島

島に住む幸せ・島で働く笑顔・
交流する島の活力
～ 生きる幸せが実感できる島 ～

1)生活環境
・交　　通　車・原付バイク・
自転車/コミュニティーバス
/タクシー
・お買い物　売店、スーパー（7件ほど）
・飲 食 店　食堂、カフェ、居酒屋など（14件ほど）
・医　　療　診療所 1 施設/歯科診療所 1 施設
・子 育 て　保育所 1 施設/幼稚園 1 施設/小学校 1 校/
中学校 1 校/小中併設学校 1 校/
学童（SUNNYクラブ）/無料村営塾（てるしの塾）/
子ども医療費助成　/渡航費助成
/離島高校生就学･修学旅行補助

2)交通アクセス
・フェリーいへやⅢ
運天港⇔前泊港 1時間20分
毎日 2 便運航

3) 移住・定住支援制度
・体験型住宅 1 棟
・伊平屋村妊産婦通院交通費助成
・新規就農支援（新規就農スタートアップ補助）

担当：人事担当
長嶺　佐和（ながみね　さわ）
所属：沖縄県伊平屋村総務課
電話：0980-46-2001
✉： s-nagamine@vill.iheya.lg.jp
ＨＰ：https://www.iheya.okinawa.jp/

【担当者より一言】
那覇市より移住して、５年目になります。地域行事やイベントで忙しい時期もありますが、本島ではなかなか経験できないことがたくさん体験できます。疲れたときには、満点の星空やクリームソーダのように美しい海に心を癒やす時間を持つこともできます(^^)
一緒に楽しく働きましょう！

■仕事内容

起債管理　辺地・過疎計画関係
各種祝金給付　宝くじ助成　CGG推進事業　等

■やりがい

村の財政を管理する裏方的な業務もあれば、住民の皆さんと直接関わる給付金の業務もあるなど、幅広い業務を経験できるので、スキルアップしながら働くことができます。

企画財政課

■きっかけ

もともとアウトドアが好きな事もあり、豊かな自然の中で活き活きとしたライフスタイルを過ごしたいと思い、伊平屋への移住を決めました。前職も役場だった事もあり、これまでの経験を活かすために伊平屋村役場へ転職しました。

1日のスケジュール

8：30～　タスク整理
9：00～　事務作業
(提出物作成等)
12：00～　昼食
13：00～　メールチェック
事務作業
業務整理
17：15～　退庁

■大変な所

職員１人１人の業務幅が広いため、各種業務を覚える事や頭の切替えには体力がいります。また、離島での生活において少し戸惑う場面もありました。ただ、周りの職員の皆さんが優しくサポートしてくれるので、安心して業務に取り組む事ができています。

■仕事内容

伊平屋村立保育所で、保育士として働いています。

■やりがい

大好きな子どもたちから「先生大好き！」と言ってもらえた時や「もーもー先生！！」と私の元へ笑顔で走ってきてくれた時は、今までの疲れも吹っ飛んでしまうほど「保育士をしていて良かった」と心から思います。私たち大人では気づかないような大発見をしたことを嬉しそうに話してくれることなど、子どもたちの成長が保育の幅を広げてくれ、とてもやりがいを感じます。

伊平屋保育所

■きっかけ

放課後等児童デイサービスで勤めた後、もう一度、保育士として仕事をしてみようと思ったことがきっかけです。そう思った時期に伊平屋島の海に魅了され、移住を決意しました！

1日のスケジュール

7：30～（順次出勤）
所内の安全確認、清掃、園児の健康観察等
7：45～　園児受け入れ・合同保育
9：30～　保育（各クラス）
11：00～　給食
13：00～　事務作業
14：45～　保育
16：15～（順次退庁）

■大変な所

仕事上の大変さは感じていないですが、生活する上でフェリーに乗らなければいけないことが大変だと感じます。船酔いするので。早く慣れるように頑張ります！